



福岡県筑紫郡
発行所 春日町
電話 91131番
印刷所 福岡印刷株式会社

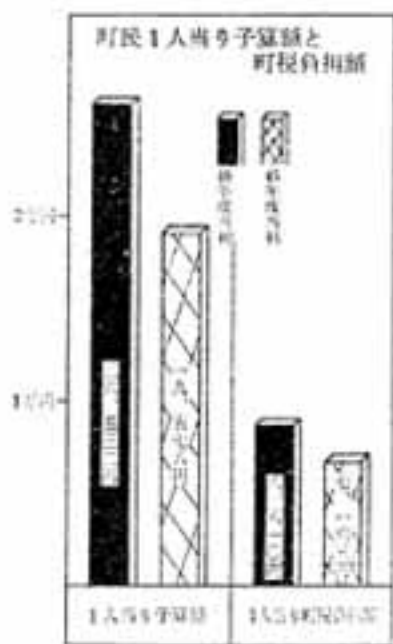
O.V.I.C.I.A.N.I.C.I.A.N.I.C.I.A.N.O

新年度予算決まる 十一億三千三百二十六万 一千円の一一般会計予算

昭和四十六年度の一一般会計予算は、去る三月二十四日第一回町定例会で議案どおり可決しました。

総額で約十一億三千三百万円、前年当初比で約三億四千三百万円増加となりました。

歳入では、町税の八千七百万



円増額、(三十一・二パーセント)対前年当初比、以下同じ)、地方交付税八千四百万円同じく増(三十一・九パーセント)また町債(借入金)が七千八百万円(百五十三・四パーセント)このほか国有提供施設等所在市町村助成交付金(米蔵関係基地交付金)の約九百万円(四十二・八パーセント)や使用料及び手数料の八百万円(八十二・五パーセント)が主なところで経常収入の増加が目立っています。また国庫支出金は前年の約八千九百万円から大巾な伸びを示し



総額で約九千七百万円伸びておられます。これは、概ね飲移地区および双葉住宅の改良に要する国庫補助金の増額であります。歳入では、新規事業として下水道事業設計調査、都市計画調査が予算計上の運びとなりました。この二つの事業は、生活環境整備の基盤となる重要事項であり目下広域的見地から周辺市町村単位で検討が進められておりますので、実施も尚早かと申せましょう。

四十六年度の公共施設整備計画は、土木費では、外環状線道路新設費三千五百万円、道路新設改良工事費千六百十五万八千円、促進工事費(普通土木工

事)千四百五十万円、舗装工事費二千二百万円となっております。促進工事の延長計画は、三千五百六十メートルまた舗装計画延長は約五キロとし全体に対する舗装率を二十九・七パーセントまで伸ばす計画です。(四十五年度末舗装率二十二・八パーセント)

国土調査は、四十六年度施行を小倉地区として計画しています。施行面積約一・四平方キロで地籍決定は、四十七年九月(十月)になりましょう。

住宅建設は、飲移、双葉の五十六戸改良がありますが一般公営住宅は、国庫補助金が獲得できれば、二十四年度の建設とな



りましよう。
つぎに義務教育施設ですが、
学校増築は、人口の増加を反映
してことしも、春日北小学校、
春日西小学校にそれぞれ三教室
を増設します。このほか春日東
小学校の調査改築があります。
延面積七百七十九平方メート
ル、鉄筋コンクリートに衣替えす
ることとなります。

収容の確保も具備される計画
です。若工は用地整備後七月着
工、十一月竣工予定で計画を進
めております。
厚生福祉施設では、保育所一
か所を計画また老人いこいの家
二カ所の新設を予算化していま
す。
新風の事項では、消費者対策
として消費者に消費の動向、情
報を知らせその対策にあたるい
わゆる消費生活全般の行政指導
を具体化しました。また四十六
年度から八十歳以上のお年寄り
に対する医療費補助を新設しま
した。

昭和四十六年度 学校教育施策について

今日の社会経済と科学技術の
進展はめざましいものがあり、
今後さらに、技術革新、情報
化、都市化などの新しい社会情
勢のなかで本町は「健康で文化
的な住み都市」としてのまちづ
くりを進めています。
このようなすう勢下にあっ
て、70年代の教育は人間性の回
復をほかり二十一世紀を志向し
て生涯教育の時代といえます。
この時代の要請に応じ得る人
づくりは、学校教育基本法の精
神に照り心身ともに健全な青少
年の育成と有為な社会人の形成
を目指して進め、さらに関係者
が緊密な連携をとり市民の理解
と協力のもとに本町教育文化の
振興を図るため昭和四十六年度
の学校教育施策を次のとおり進
めます。

(一) 学校教育の充実
社会文化の急激な発展により
教育の高度化、技術化が進行し
たことに伴い教育内容の充実と
教科書の採択変更による学習指
導の徹底拡充を図るとともに教
育研究をすすめる教職員の資質の
向上を図る。
(二) 学校保健安全の強化
① 幸福な生活をめざして児童
及び生徒の生命の尊重と、健康
を守るため、保健安全教育の強
化を図り健康管理の徹底を期す
るとともに特に交通安全及び学
校公舎対策の推進に努める。
② 食生活の向上に志し学校給
食内容の充実その他栄養、衛生
管理の強化を図りさらに中学校
における完全給食の研究をすす
め学校給食の充実向上を図る。
(三) 学校用地の確保
過密化現象による児童及び生
徒の急増により年々学校規模の
増大を来し、必死的に学校の新
築を要求されるので、春日南小
学校(仮称)用地の早期買収完
了と春日北小学校の分離である
須玖小学校(仮称)用地買収の
着手及び第三中学校用地の先行
取得を促進し、学校用地の確保
を期する。

(四) 学校施設の整備充実
① 生徒数の増加による不足教
室の解消を図るため、春日北小
学校に普通教室三、附設、便
所、視聴覚室、春日南小学校に普
通教室、図書室、図書室、及び
春日東中学校の二階便所を増築
し、春日東小学校講堂の防音補
助による改築、春日西小学校プ
ールを新築整備し、春日小学校
の団体改築を促進する。
② 学校施設整備の年次計画に
基づき、学校プール補修整備及
び教室照明改善、放送設備、産
芥煖却が、屋外便所その他外構
などの諸工事を緊急度に応じて
実行し、施設または環境の整備
充実を図り、警備保安会社に学
校警備を委託し学校の保全管理
の適正を期する。
③ 学校設備については調製の
機、椅子への切替を早め、教材、
理科教育、職業教育用品につ
いては基準に基づき、活用その他
の備品は必要に応じてそれぞれ
学校間の均等を保つよう早期に
整備充実を図る。

衛生業務の紹介

春日町役場衛生係（職員五人）乳幼児に対する保健活動を始めとして、伝染病、しんじ、ごみ、高火の管理、火葬場等々まことにゆりかごから墓場までをとり扱っています。

本町が福岡都市圏の住宅地としての要素を占めていくに従って、環境衛生や予防衛生業務など、住民のみならずとも解決していかなければならぬ問題点が数多く提起されています。

昭和四十六年度はとくにごみの処理体制を強化していくことにより町内の環境整備に重点施策をとることにあります。主な事業計画は次のとおりです。

- 一、ごみ廃立処理のために約二千平方メートルの土地を購入または借用し、一般の不燃物、不法投棄のごみの処理に当り、ごみ収集回数の増加要望に応えらるる体制の一部とします。
- 二、住民の皆さんとの協力を得て、ごみの不法投棄者を捕獲し、道路ごみの不法投棄現場を清掃、管理します。
- 三、赤ちゃん、生徒二年の間

に約五種類もの予防接種を受けなければならず、接種や問診タイムには、薬のもつ微妙な規制があります。

町の予防接種計画に従って、一つ一つ済ませていくために健康管理として、薬の知識を研究していく心がまえが必要で、

四、防疫体制の機械化により、「か」や「はえ」のいない生活を実践するために、五月から九月中旬まで町内の公共地域の防疫作業を実施します。あなたの知り、「か」や「はえ」の発生源がありましたら早めに係へ連絡してください。

衛生行政は全般にわたって住民の皆さんの協力なしには遂行できません。春日町が年毎に美しくなるよう皆さんと並んで歩んでいきたいと願っております。



国民年金融資あいつぐ

昇町保育所

町立昇町保育所新設の事業費に国民年金積立金の還元融資を受けました。融資額は、六百五十万円です。事業費の約五分に相当します。

これは、昨年の春日原保育所新設について二度目の融資となります。町民の皆さん方の年金積立金で保育所が建ちました。今後とも納入につき協力ください。

昭和四十六年度 国民健康保険特別会計の計画概要について

・国民健康保険税率の概要

国民健康保険事業運営は保険料と国庫支出金によって収支の運営を建前としておりますが、昭和四十六年度の既徴収は過去数年の実績により給保率の増加、一件当り費用額の上昇、受給率の上昇などにより算出し既徴収額は二億二千八百七十七千円となり保険者負担額も一億五千四百七十六万一千円と推計され、被保険者一人当り標準給

付費（町負担）は一万六千四百十八円と既徴収の上昇が見込まれますが、既徴収の赤字補填として四十六年度は国民健康保険基金積立金から七百五十四万六千円繰り出しにより国民健康保険税率の改正は提案されました。

保険額は、六千九百六十九万二千円で被保険者一人当り七千三百九十三円となります。

自衛官募集

自衛官はりっぱな社会人です。自衛隊の規律ある団体生活で身につけた技術、責任感や根性は一般社会においても、広く歓迎されます。もちろんその人が希望すれば、自衛隊内で上に進むこともできますし、満期除隊になって、一般の民間会社に勤めるときにも、一流会社に有利な条件で就職することができます。

詳細は住民課または自衛隊地方連絡部に問い合わせてください。

・助産費、葬務費の給付額が改正

昭和四十六年度四月一日以後出生または死にされた国民健康保険の被保険者にたいし、助産費については一万円（三月三十一日までは二千円）に、葬務費については五千円（三月三十一日までは四千円）に支給額が改正されました。

（保護課）